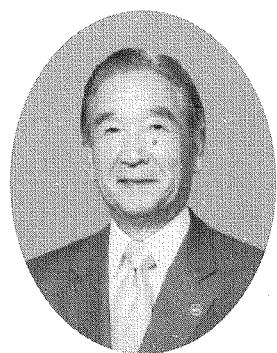




平成24年3月10日発行

〒358-0003

入間市豊岡1-15-1

豊岡高校同窓会
会報編集委員会

神話の国

同窓会長 木下博

日本では、自然豊かな風土と島国の特性が、森林信仰という独自の文化を生み出し、特異な現象を「神」と結びつける風潮を育てた。

日本は、戦争の反省から憲法で不戦の誓いをたてている。大震災という最大不幸を反省するならば、復興計画は、過去の事実を全て検証した結果の自然との共存の誓いによって進めるべきである。「神

話」は、日本人の心のふるさととして生き続けるだけで良い。

時代は変わり、平成二十三（二〇一二）年三月十一日、東日本一帯がマグニチュード9の大地震に襲われ、大津波によって三陸沿岸地域の殆どで土地、家屋が破壊され、死者、行方不明者二万人の大災害となつた。また原子力発電所の大事故によって放射性物質が拡散、今なお仮住居を余儀なくされている方も多い。数多くの歴史的事実や口伝によつて、地震、津波の危険が語り継がれているにもか

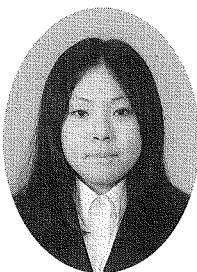
かわらず、ある筈がない、起こる筈がないという憶測による「安全神話」によって原発が建設され、大事故を起こした。

第四号が発行されることの大変な喜びである。この手づくり会報が、同窓会員諸氏と母校を結ぶささやかな絆となってくれることを願うや切である。

(昭26高卒)

昭和二十（一九四五）年は私にとって忘れ難い年である。この年三月十日未明、米軍爆撃機の無差別爆撃によって、東京の下町一帯が焦土と化し、犠牲者は十万人をこえた。そして四月、県立豊岡実業学校に入学した。軍事一色の教育が続く中、八月六日に広島、九月には長崎に原子力爆弾が投下され、それが引き金となって日本は、開国以来初めて敗戦国となる。

農耕の日本人が、明治維新によつて、近代化という「享樂」の味を知り、資源獲得のために海外雄飛を夢見たことは、国策として正しかつた。しかし、世界列強の植民地政策に巻き込まれ、軍備の強化に走つたことが、敗戦の遠因になつたことは歴史が証明している。



「新同窓会員のあいさつ」

私たちの豊高生活

元生徒会長 藤田千里さん
(平24高卒)

私たち平成二十三年度
卒業生は、この度、新同
窓会員となります。どう
ぞ宜しくお願ひします。

私たちの三年間は充実
したものでした。勉強・
三大行事・部活動、そして
生徒会。楽しいと感じ
る時もあれば、辛いと感
じる時もありました。し
かし、多くの人がそれを
乗り越え、達成感を味わ
い、そして、常任や生徒
会、部活動を引退し、後
輩に引き継ぎました。

三年間の豊高での生活
を通し、私たちは先生方
や先輩、地域の方々の偉
大さに改めて気が付きま
した。たくさんの歴史と
伝統が今に至るまで、し

つかりと受け継がれてい
るのは、同窓会の皆さん
の意志と豊高に対する強
い誇りがあるからだと感
じました。

時には優しく、時には
厳しく指導していただき、
私たちは豊高での三年間
を無事に過ごすことができ
ました。この間に得た
思い出は、何物にも替え
がたい大切な青春となり
ました。本当にありがと
うございました。

これからは、卒業され
た先輩方や地域の皆様方、
先生方、そしてPTAの
皆様とともに、後輩たち
が新しく築く豊高の歴史
と伝統を見守つてゆく立
場となります。新しい節

「私の高校生活一番の
思い出は、ヘッポコ選手

だつた陸上部ではなく、
創作ダンスです。団体競
技のおもしろさもさること
ながら、やっぱりダン
スが得意なんですね。自

分と思う存分表現できる
のが高校三年生の時のダ
ンス大会だったわけで
す。」

こう語るのは、昭和五
十四年に豊岡高校を卒業
された小林真弓さん。

彼女の現在の職業はフ

ィットネスインストラク

ター。日本でその職業が
確立されていなかつた一

九八〇年代からこの仕事
をされていました。当時、
仕事を生かそうとダンス

に練習をしていました。

「創作ダンス」。豊高には、
の二学期、三学期の体育

の授業を使って行われて

レッスンも受けていたの
ですが、同じ教室には日

本のダンス界の大物TR
Fのサムさんや、ジャニ
ーズ事務所の売れっ子タ
レントS M A Pの姿があ

ります。授業では各グルーブが発
表を行いました。

授業に参加するのは女
子だけですが、なんと発
表会には、男子生徒はも

ちろん、父兄までもが見
学にやって来ます。まさ
に高校生活を締めくくる
一大イベントだったわけ
です。

小林真弓さん
(昭54高卒)

豊卒見聞録

紹介します

頑張る卒業生

（昭54高卒）



いました。三年生の女子
が一チーム八人程に分か
れ、「振付」「音楽」「テー
マ」をそれぞれのグルー

プごとに決め、チーム対
抗戦を行います。最後の
授業では各グルーブが発
表を行いました。

授業に参加するのは女
子だけですが、なんと発
表会には、男子生徒はも
ちろん、父兄までもが見
学にやって来ます。まさ
に高校生活を締めくくる
一大イベントだったわけ
です。

小林さんは在学中、陸
上部に所属していました。
当時の豊高陸上部は強く、
全国大会優勝者も同学年
にいるほどでした。その
部活動よりも、強く印象
に残っている思い出が、
「創作ダンス」。豊高には、
今も昔も、学校行事の好
きな生徒が多かつたこと
がよくわかります。



普通科一期生 十一年振りの同窓会

昭和四十年三月に普通科一期生として卒業した一、二組（普通科全員）合同の同窓会が、去る九月十九日に狭山市内のレストラン・ニックスにて行なわれた。

今回は、前回から十一年経過したが四回目を数えるに至った。卒業から四十六年が経ち、還暦を過ぎた現在では大半の人が孫がいる世代となり、出席者が四十四名、と約半数の方が参加して、前回よりも盛り上った。中には、今回初めて参加した人も数名いた。懐

かしい面影が残っている
顔があり、また名前が全くわからない顔もあり、

対面して名前を確認する場面も多々見られたが、会場内においては終始に

亘り、在学時代にタイムスリップしたような雰囲気に包まれ、非日常の時間

を四時間余りではあつたが、楽しむことが出来た。次回の幹事も決まり、皆が三年後に再び元気な

顔で会えることを願いつつ、帰路に着いた。

（水村 浩司 昭40高卒）

最後の同窓会

私たち豊実二十回（高校二期）卒業生は今年八十才を迎えるに当たり同窓会を開催いたしました。

私たちは、同級生に不幸があった場合、御靈前に花環（または香典）を

お供えしようと、かねてより基金を作り運営しておりましたが、高齢化に伴い、横の連絡もとりに

くくなり、運営がむずかしくなったこともあります。

基金の清算をかねて、最

後の同窓会ということでの

意義な同窓会でした。
なお、余剰金（九一、四四五円）は東日本大震災の義援金としました。

（河野 一夫 昭25高卒）

古希同窓会開催

平成二十四年二月三日、

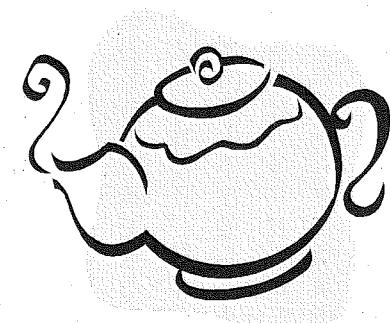
昭和三十四年度豊岡実業高等学校卒業生が、還暦の同窓会の際に本校中庭に植樹した月桂樹とともに記念撮影および校内の見

学のため来校されました。始めに、校長先生より現

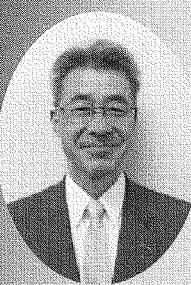
在の学校概況の話があり、その後、十年前に植樹した月桂樹とともに記念撮影

をしました。

産業文化センターに会場を移し、当時の恩師もご出席いただき昔を懐かしみました。



幸い好天に恵まれ、桜やツツジの花も見事で、白雲山鳥居観音や有間ダム（カヌー工場）に足をのばし、山に囲まれた大自然の中で語り合い、有



—新豊岡高校に向けて— 単位制高校と教育の理念

校長 関口恭裕

平成二十三年四月に、豊岡高等学校を命ぜられ着任いたしました。どうぞよろしくお願ひいた

本校は、大正九年の創立以来、「地域社会を支える活力ある人材の育成」

創設期の農学校から実業学校、実業高校、そして普通科高校へと時代と共に要請により教育活動の内容は変わってきましたが、地域を支える人材の育成という使命は、脈々と今まで受け継がれてています。

平成二十三年四月に、化、高度情報化、少子高齢化の進展、リーマンショック以来長引く不況、若者の就職難、更には過

日の東日本大震災により多くの方が尊い人命と生活基盤や経済基盤を失いました。この大きな災害は、二十一世紀の日本社会の転換点になるので

ます。社会の混乱や不安が高まる中、これから日本社会の在り方が問われています。

こうした様々な課題を解決し、この歴史的な難局を乗り越える為に、教育の力への期待は大きくなっています。

現在、日本は大きな状況にあります。国際

化、高度情報化、少子高齢化の進展、リーマンショック以来長引く不況、若者の就職難、更には過

日の東日本大震災により多くの方が尊い人命と生活基盤や経済基盤を失いました。この大きな災害は、二十一世紀の日本社会の転換点になるので

ます。社会の混乱や不安が高まる中、これから日本社会の在り方が問われています。

こうした様々な課題を

ます。社会の混乱や不安が高まる中、これから日本社会の在り方が問われています。

ます。社会の混乱や不安が高まる中、これから日本社会の在り方が問われています。

ます。社会の混乱や不安が高まる中、これから日本社会の在り方が問われています。

ます。社会の混乱や不安が高まる中、これから日本社会の在り方が問われています。

ます。社会の混乱や不安が高まる中、これから日本社会の在り方が問われています。

ます。社会の混乱や不安が高まる中、これから日本社会の在り方が問われています。

ます。社会の混乱や不安が高まる中、これから日本社会の在り方が問われています。

ます。社会の混乱や不安が高まる中、これから日本社会の在り方が問われています。

ます。社会の混乱や不安が高まる中、これから日本社会の在り方が問われています。

学科に変更がないことから、設置校である豊岡高校の名称を継承できることとなりました。校章や校歌も変わりません。入間高校は、すでに平成二十三年度から生徒募集を停止しております。また、豊岡高校の定時制課程も平成二十三年三月で閉講となりました。

現在本校は、「地域に根ざした特色ある進学校」を目指す学校像として、学校での学習時間の確保を図るために、45分×7時間授業、週34コマの授業、夏季休業等長期休業の短縮等を行っています。

また、平成二十五年度から県立高校の後期再編整備計画により、本校は単位制の新校に移行します。新校は、豊岡高校と入間高校の統合によるものですが、新校が同一市内の統合で、かつ課程・

学科に変更がないことから、設置校である豊岡高校の名称を継承できることとなりました。校章や校歌も変わりません。入間高校は、すでに平成二十三年度から生徒募集を停止しております。また、豊岡高校の定時制課程も平成二十三年三月で閉講となりました。

現在本校は、「地域に根ざした特色ある進学校」を目指す学校像として、学校での学習時間の確保を図るために、45分×7時間授業、週34コマの授業、夏季休業等長期休業の短縮等を行っています。

また、平成二十五年度から県立高校の後期再編整備計画により、本校は単位制の新校に移行します。新校は、豊岡高校と入間高校の統合によるものですが、新校が同一市内の統合で、かつ課程・

(2) 育てたい生徒像

ア 志を持って、自分

の知識・技能を意欲的に伸ばし、積極的に課題解決に取り組む生徒

イ 心身共にたくましく、真理を探求し、使命感を持って自己を開拓する生徒

ウ 社会性・協調性を備え、地域のリーダーとなる生徒

エ この新校の基本理念は、この新校の基本理念は、

（1）目指す学校像

ア 生徒一人一人の希望する大学への進学を実現し、生徒・保護者の信頼に応える学校

イ 生徒の個性と社会性を伸ばし、社会の発展に貢献する人材を育成する。

ウ 大学・研究機関との連携を深めると共に、教育力を地域に還元できる開かれた学校

の知識・技能を意欲的に伸ばし、積極的に課題解決に取り組む生徒

イ 心身共にたくましく、真理を探求し、使命感を持って自己を開拓する生徒

ウ 社会性・協調性を備え、地域のリーダーとなる生徒

エ この新校の基本理念は、この新校の基本理念は、

（1）目指す学校像

ア 生徒一人一人の希望する大学への進学を実現し、生徒・保護者の信頼に応える学校

イ 生徒の個性と社会性を伸ばし、社会の発展に貢献する人材を育成する。

ウ 大学・研究機関との連携を深めると共に、教育力を地域に還元できる開かれた学校



豊高制服

の改修は大規模なものとなり、平成二十四年度及び二十五年度の夏季休業中を中心に行う予定です。新校については、近隣の中学校への広報も行っております。

歴史と伝統のある本校の更なる発展を期して一層の教育活動の充実を図つてまいりたいと考えております。同窓会の皆様のご支援ご協力を引き続きお願い申し上げます。

校舎の改修計画、新校の教育課程等について検討してまいりました。校舎

今年度は、四月以来、

在籍生徒数 (12月1日現在)

	男	女	合計
1年	164	152	316
2年	125	187	312
3年	165	141	306
合計	454	480	934

日課表

SHR	8:40～8:55
第1時	8:55～9:40
第2時	9:50～10:35
第3時	10:45～11:30
第4時	11:40～12:25
昼休み	12:25～13:10
第5時	13:10～13:55
第6時	14:05～14:50
第7時	15:00～15:45
SHR・清掃	15:45～

学校概況(平成23年度)

～年間行事予定～

- 4月：入学式 始業式 開校記念日(28日)
- 5月：生徒総会 HR 発表会 中間考查
- 6月：三者面談
- 7月：期末考查 球技大会 終業式 夏季休業
- 8月：夏季休業 始業式
- 9月：豊高祭(3, 4日)
- 10月：生徒会役員選挙 中間考查 修学旅行(2年沖縄)
- 11月：平和集会
- 12月：期末考查 終業式
- 1月：始業式 生徒総会
- 2月：駅伝大会
- 3月：学年末考查 卒業式 球技大会 終業式

平成25年度より
豊岡高校は変わります

～新校「豊岡高校」について～
全日制課程の大学進学重視型普通科単位制高校に移行します。

新校「豊岡高校」とは

- ☆大学進学を全力でサポートします。
- ☆文系の進学はもとより理数系、外国語系の進学にも力を入れます。
- ☆将来の進路希望に応じた授業を、少人数でおこないます。
- ☆地域社会や国際社会で活躍する人材を育てます。
- ☆学校行事や部活動にも力を入れます。

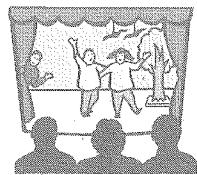
今後とも入間地区の栄えある伝統校として、学習指導・進路指導・生徒指導に教職員一同更なる充実を図ってまいります。引き続き豊岡高校に暖かいご支援とご指導をお願い申し上げます。

※校名や所在地に変更はありません。

詳しくは本校ホームページ (<http://www.toyooka-h.spec.ed.jp/>) をご覧ください。

第41回HR発表会

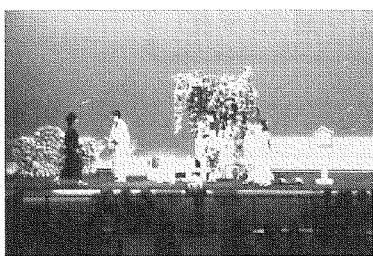
Youth
only
comes
once



豊岡高校のHR発表会は、全国でも珍しいHR対抗の演劇コンクールです。このHR発表会も今回で四十回目を迎えました。

今回は、東日本大震災の影響で、春休みに作業がほとんど進められなかつたり、強い地震の影響で照明の角度がずれてしまつたり、いたりなど、思いがけないトラブルや困難なことがありました。

また、会報第三号で報



貫禄の演技

生徒たちはこの行事を成功させようと、常任（行事を運営する有志）を中心、過去四十回の伝統を守るためそして新しい歴史を刻むために何度も話し合いや準備をして、無事当日を迎えることができました。

入学して間もない一年の影響で、春休みに作業がほとんど進められなかつたり、強い地震の影響で照明の角度がずれてしまつたり、いたりなど、思いがけないトラブルや困難なことがありました。

二年生も、同じく四組の、芥川龍之介原作『羅生門』のその後を想い描いた『羅生門～善と悪』が、観衆でもある国語科の教員を唸らせるほどの文学的な舞台で『ナイスミードル賞』を受賞。

三年生は、全クラスが、経験にものを言わせ、さすがに貫禄を見せつけたようです。どのクラスも一、二年生と比べてもやはり差を感じさせるよう

(HR発表会担当顧問)

告させて頂きましたが、

それは発表会の長所でもある、HR全体で一から劇を作り上げていく過程で仲間としての絆が強まりました。殊に四組の

『GALデレラ』は、オリジナルの脚本で素直な一年生を表現して『新人賞』を手に入れました。



最優秀賞受賞3年5組『Annie』

生にとっては、入学後、すぐの行事ということでお配されるところですが、クラス内の友人関係も心配されました。中でも優勝した五組の『Annie』は、涙あり笑いありで見ていい方まで歌い出したくなるような、気持ちのよい劇でした。

三年生にとっては、最高まで歌い出したいな

な内容・表現で会場を沸かせました。中でも優勝した五組の『Annie』は、涙あり笑いありで見ていい方まで歌い出したいな

学校でも大きな揺れがあり、電線も大きく揺れていた、東日本大震災が起こった瞬間でした。幸いにも校舎に大きな被害や、負傷した生徒も出ませんでした。しかし、公共交通機関が止まり、生徒の帰宅が危ぶまれましたが、午後十一時頃迄には全生徒が帰宅できました。

翌日の卒業式は十四日に延期したのですが、停電のため電車が動かないのになり、卒業式が出来ないので、この日も再度延期になりました。いま学校は春休みに入り、二十六日の土曜日に集まる人だけが集まり「卒業の会」という名の卒業式を行いました。

第六十二回卒業式

平成23年度進路先(浪人含む)

四年制大学	短期大学	専門学校	就職・公務員
171	27	54	9

～主な進路先～

【四年制大学】

埼玉大学(1)、早稲田大学(1)、中央大学(1)、法政大学(5)、東洋大学(8)、日本大学(4)、専修大学(3)、駒澤大学(2)、神田外語大学(2)、成蹊大学(3)、芝浦工業大学(4)、武蔵大学(7)、女子栄養大学(2)、拓殖大学(8)、東京電機大学(1)、埼玉医科大学(1)、亜細亜大学(8)、國學院大学(2)、大東文化大学(7)、東京経済大学(4)、城西大学(3)、帝京平成大学(6)…他

【短期大学】

青山学院大学女子短期大学(2)、武蔵野短期大学(4)、実践女子短期大学(2)、亜細亜大学短期大学部(3)…他

【専門学校】

国際文化理容美容専門学校(4)、上野法律専門学校(2)、早稲田速記医療福祉専門学校(3)…他

【就職・公務員】

防衛大学校(1)、埼玉県警察(1)、自衛隊(2)、西武鉄道(1)、ビックカメラ(1)…他

進路概況

景気低迷のため四年制大学の進学を諦めなければならない生徒もいましたが、大学進学率は50%を超えていました。また、就職は求人が少ないこともあり厳しい状況です。

豊岡高校男子ソフトテニス部はかつて二度埼玉県大会で優勝しました。一度目は、戦後初の昭和二十三年(一九四八年)・関東大会県予選(第一回県大会)での、優勝です。当時は埼玉県立豊岡実業高校でした。二度目は、昭和五十四(一九七九)年・関東大会県予選での、優勝です。このように輝かしい成績をもつた伝統ある部活動です。

現在、部員は二年生が五名、一年生が十五名の計二十名で活動しています。

部活動訪問 (第2回は男子ソフトテニス部)



会では昔の先輩方の栄光に恥じぬよう今までよい結果を報告できるよう頑張ります。

(顧問 黒田 哲
平12高卒)

はいえない中で日々ナイター照明のもと、遅くまで活動しています。今年度は惜しくもあと一步のところで県大会出場を逃しました。その悔しさをバネに基盤体力作りや基本を反復的にやることに重点をおき、春からの大

アーチエリーエー部
19年振りの快挙
第30回全国高等学校アーチエリー選抜大会に出場

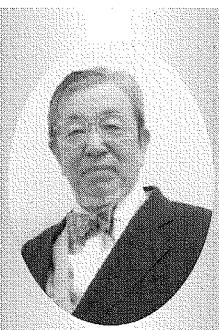


荒井桜子さんの言葉

全国選抜大会に出場するにあたり一生懸命努力し、全力を出し切れるよう頑張ります。

日時 3月26日
場所 静岡県掛川市

スコートはグランドの南側端にある二面ですが、雨が降れば水が溜まり、乾燥すればラインが浮き上がるなど決してグランド



私達の坂の上の雲

小林駿介

一はじめに

司馬遼太郎の小説「坂の上の雲」がNHKで再放送された。日露戦争を勝利に導いた秋山兄弟、近代俳句・野球の創始者正岡子規の物語である。もし日露戦争に敗ければ日本はロシアのものになつたのだから。

さて、戦後、無から立ち上がつた日本で、まだ中学生だった私達が、「もしかしたら、私達も坂の上の雲をやつたのではないか」と思つようになつた。

二 戦争は終わった

「君達中学生は千葉の九

十九里浜に立つていてくれ、そしたら米軍が上陸

光が来た

とラジオで言つた事を憶えている。

子供達は豆科学者になつた。私も何かしなければならないと考えて、ある日

鉛筆を立て左に倒れれば

ラジオ、右なら天文学と思

して來るので一秒くらい止められるだろう。日本の為に死んでくれ。」と昭和二十年七月頃豊岡実業学校（豊高の前身）の一年生だつた私達は先生から言われた。「そうか、日本の為に死ぬのか」と思つた。

その年八月十五日終戦となり私達は死なずに済ん

だ。光が差して來た感じであつた。時の総理大臣か文部大臣が、「日本は戦争に敗けた。しかし、これから

敗れた日本で、まだ中学

生だつた私達が、「もしかしたら、私達も坂の上の雲をやつたのではないか」と

思つようになつた。

文では飯は食えない」第一

科学者になれるのか心配し

ていた。父親が高校の先

生に相談したら答えは「N

O」であった。母親が狹

山市に敬愛している神様

を見ながら、待てよ、これ

つて來た。

(山口東京理科大学)

昭26高卒

卒業生からの手紙

いでしょう、ただお宅のお子さんはあはれ鳥ですから、然るべきところで、といったような御返事をもつて、東京理科大学へ入學した。そこで卒業研究は真空管であつた。先生と共に著で米国の物理学会誌に論文が出て、朝日新聞にも載つた。

その後、東京大学博士課程、理化学研究所へと進み、そこで日本で初めて今日広く用いられている液晶ディスプレイを試作し、その後多くの会社と実用化へと導いた。

まだまだ同級生には会社社長など沢山活躍した人がいる。これは、森田義雄先生をはじめ先生方の御指導の賜物である。そして、私達も戦後の復興へ何らかの寄与をした。テレビを見ながら、待てよ、これ

は昆虫学で免疫の創始者である。北野君は先ず四年間銀行に勤め、弟達を学校へ通わせた後、自分は東京芸術大学へと進み、理学博士となりそこで教授を勤めた。沢辺栄一君は豊実から都立立川高校を経て、東大工学部電気工学科を出て、N H K 技術研究所のトップを勤め、遠距離 T V 放送で科学技術長官賞を受けている。

平成23年度常任理事会開催

平成23年6月10日

議事

1 平成22年度 事業報告

- (1) 新体育館備品寄贈について
緞帳等及び電動昇降開閉装置

(2) 会議等について

- 常任理事会 平成22年6月24日
○90周年記念事業実行委員会
第1回 平成22年9月11日
第2回 平成22年11月13日

(3) 同窓会報の発行について

- 第2号 平成22年11月1日発行
[主な内容: 座談会「今に伝えたい豊高精神」]
第3号 平成23年3月10日発行

[主な内容: 創立90周年記念式典報告]

(4) 創立90周年記念事業への参加について
90周年記念式典・祝賀会(5) 100周年記念誌の発行準備について
100周年記念誌発行についての検討

(6) 同窓会入会式説明 平成23年3月11日

(7) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈
第63回卒業式 東日本大震災で中止

2 平成22年度決算報告及び監査報告

3 常任理事承認について

4 同窓会報特別会計について

同窓会報特別会計を設立し、賛助会員への事業を推進する。

5 平成23年度事業計画について

(1) 常任理事会の開催

(2) 同窓会報の発行 第4号

[主な内容: 母校の活動情報の提供と会員同士の情報交換等]

(3) 100周年記念誌の発行準備について

(4) 同窓会入会式説明 平成24年3月9日

(5) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈

(6) 第64回卒業式出席

6 平成23年度予算について



同窓会寄贈の横断幕

平成22年度 同窓会決算報告

自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

1 普通預金の部

収入合計額	支出合計額	残額(翌年度へ繰越)
7,403,352円	- 5,134,930円	= 2,268,422円

(単位: 円)

科 目	金 額	摘 要
1 会 費	771,000	3,000円×257名(23年3月卒業生)
2 賛助金	218,740	1,000円×228口
3 繰入金	1,956,938	定期預金の部から繰入
4 雑 入	926	預金利子
5 繰越金	4,455,748	前年度から繰り越し
合 計	7,403,352	

(単位: 円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	156,050	常任理事会経費等
2 慶弔費	35,100	慶弔費
3 事務費	243,258	封筒・同窓会会報印刷代
4 卒業生費	82,200	卒業証書ケース代
5 激励費	0	
6 講師謝礼費	0	
7 積立金	0	
8 支援費	3,413,340	体育館舞台用緞帳代
9 周年行事費	1,204,982	90周年行事印刷等経費
10 予備費	0	
合 計	5,134,930	

2 定期預金の部

収入合計額	支出合計額	残額(翌年度へ繰越)
18,970,097円	- 1,956,938円	= 17,013,159円

(単位: 円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰越金	18,945,724	前年度より繰り越し
2 預金利子	24,373	預金利子
合 計	18,970,097	

(単位: 円)

科 目	金 額	摘 要
繰出金	1,956,938	同窓会本会計へ繰入
合 計	1,956,938	

上記のとおり平成22年度の決算報告をいたします。

平成23年6月10日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

平成23年5月26日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安

事務局だより

◎会報発行賛助金への 「J協力に感謝します」

同窓会報第三号を皆様

に発送の折、賛助金の振り込み用紙を同封致しましたところ、今年も多数の方々から「支援・J協力を頂きました。有難うございます。本来ならば、直接にお札を申し上げるべきところではあります

小紙『出藍』は、豊農・豊實・豊高の卒業生や、各時代の教職員の方々、またこれまで本校を支えて下すつた地域をはじめ大勢の方々との交流や絆を深める一助として発行次号『出藍』第五号の発行準備に入りました。引

なお、編集委員会では、次号『出藍』第五号の発行準備に入りました。引

て、一人の新しい仲間が加わりました。永谷晶久氏（平12高卒）と平田光洋氏（平19高卒）です。これまでの委員同様、宜しくお願い致します。

〔大丈夫だ日本！〕（あ

き続き皆様の会報発行賛助金へのご協力も併せてお願い申し上げます。

なお、第三号発送の際、誤つて一部の方に第一号をお送りしてしまいました。お詫び申し上げます。

J希望の方には再送付致します。J連絡下さい。

J希望の方には再送付致します。J連絡下さい。

◎新理事を紹介します

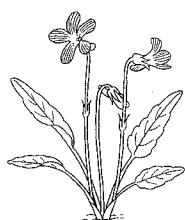
編輯後記

稿原稿を中心に、平成二十一年三月の発行を予定しています。つきましては、本年十月下旬を目途に、「在学時代の思い出」や「近況報告」、「文芸作品」、「その他」一般投稿を募集しております。

とりわけ、三ページの『ティー・タイム』は、豊農・豊實・豊高卒業生の皆様による同窓会やクラス会での様子を広くお伝えするコーナーです。

毎月の第三土曜日は、「同窓会の日」だそうです。皆様のお近くで、近い年、同窓会やクラス会等を開催された方がいらっしゃいましたら、ぜひ会報編集委員会まで情報をお寄せ下さい。

◎編集委員会に仲間入り



◎編集委員会に仲間入り

編集人 足立 宏
編集委員 大野清恵・木口勝巳
黒田 哲・高原誠子
永谷晶久・野口晴康
橋本 浩・平田光洋

TEL 042-196-1516 FAX 042-196-0105
メールアドレス f625216@pref.saitama.lg.jp

「出藍」第三号発行の翌日、正に一年前の三月十一日、わが国未曾有の大震災が東日本を襲つた。地震が津波を呼び、津波が原発事故を誘発した。

天海雅充氏（昭55高卒）と永谷晶久氏（平12高卒）のお二人です。なお天海氏は、母校豊高に教諭として着任されました。

小紙第一面の通りである。小紙第一面の通りである。

▼過去の苦しみを、時の経過で忘れ去り、「今は安全・安心」と思い込む。

「安全・安心」は、不断の訓練と心得によって、初めて自ら手にすることが出来る。釜石市における片田敏孝群馬大学教授の実践がそれを物語る。

▼諸氏の中にも、直接・間接に被災された方もおられることが多いと思う。亡くなられた方々のご冥福を祈ると共に、被災地に在

発行所 〒358-10003 入間市豊岡二一五一一

埼玉県立豊岡高等学校 同窓会会報編集委員会

TEL 042-196-1516 FAX 042-196-0105

メールアドレス f625216@pref.saitama.lg.jp